

企業名	株式会社シール堂印刷				
役職・代表者	代表取締役 新保段一郎				
本社所在地	東京都品川区西五反田 4-27-10 印刷産業ビル				
電話番号	03-3493-2131	設立年	1933年	従業員数	25名
URL	http://www.seal-do.co.jp				

該当するSDGsのゴール



自社紹介及びSDGs取組の概要

当社は「シール・ラベル・ステッカー」「マスキングテープ」の印刷会社である。本社は東京都品川区（営業・総務）で埼玉事業所は埼玉県幸手市（製造・製品管理）で活動している。B to Bの業務用ラベルの請負を中心に創業87年になるが、10年程前にB to C向けに「シール堂」というブランドを立ち上げ「マスキングテープ」を中心に展開している。

SDGsの取組みは、もともとISO14001で「地球にやさしい資材、環境を汚さない印刷、自然と共存する社員」を方針に活動し「SDGs製品をSDGs印刷でSDGsな会社から」に進化してきている。取組みで特に力を入れているのはSDGs製品として「バナナペーパー」というSDGs17ターゲットの全てに関わるフェアトレード認証紙を自社ブランド製品・ノベルティ・別注品などで、積極的に展開している。

さらにSDGs印刷として製造のエネルギーの大半の電気は再生可能エネルギーを使用し照明や印刷機のLED化や廃棄物のゼロエミッション等に取り組んでいる。

取組のきっかけ、背景

- ISO14001の活動で「環境配慮型製品」企画・提案・普及を進めていた中で「バナナペーパー」を軸にSDGs活動は広がり、SDGsロゴの「バナナペーパーシール」と「マスキングテープ」を弊社ノベルティとして配布し、反響を得た。
- 自社ブランド「シール堂」に「バナナペーパー」中心にSDGs製品を展開した。

取組の進め方

- 展示会・イベント・商談会などに積極的に参加し「バナナペーパーシール」等を配布。取り組みを紹介している。
- 「バナナペーパー」はOne Planet Paper協議会で推進することで、さらなる広がりにつながっている。（現在29社）

具体的な取組、製品・サービス

- SDGsロゴの「バナナペーパーシール」を弊社ノベルティとして配布しながら別注品の発注も頂いている。自社ブランド「シール堂」で「シートシール」「フレークシール」「ポストカード」「マスキングテープ風テープ」で製品化し販売している。
- 環境省の推進する海洋ゴミ問題解決に向けた「プラスチックスマート」に生分解性バイオマス素材のステッカーを自社ブランドから「グッドチョイスシール」として登録し販売している。
- 弊社の契約しているデザイナーのShinzi Katoh Designとタイアップし自社ブランド製品で、絶滅危惧種デザインの「マスキングテープ」「フレークシール」等を展開。該当製品は売上の一部をIUCN-J国際自然保護連合日本支部）に寄付する事で保護活動の支援をしている。



バナナペーパーシール



絶滅危惧種マスキングテープ

- SDGs印刷工法として、製造で使用するエネルギーの大半である電気は再可能エネルギーを使用し、なおかつ照明や印刷機のLEDで節電も実施している。廃棄物は固形燃料のRPFにリサイクルを中心にゼロエミッション化を推進。オンデマンド印刷機の活用により省資源・省エネルギー・廃棄物削減を進めている。オンデマンド印刷機は女性が多く活躍しジェンダー効果も出ている。
- 「バナナペーパー」はOne Planet Paper協議会で同じ「志」を持つメンバーで協力しながら「SDGs」をキーワードに普及活動をしている。

取組んだ成果、効果（取組前後の変化）

- 展示会やイベントや商談会に参加する機会も増え、今までの請負型の受注スタイルから提案型の「脱請負型の受注スタイル」に変化をしてきている。結果的に新規の客様の獲得につながっている。
- 1番の人気商品の「マスキングテープ」は、最近は「SDGs」「エシカル」「サステナブル」をキーワードにしたイベントも多くお声がけ頂く事も増えている。SDGsな製品を自社ブランド「シール堂」で展開することでブランディング効果も出ている。

今後の予定、展望

- 「バナナペーパー」を軸にSDGs製品の企画・提案・拡販として、展示会・イベント・商談会にはハイブリットな対応をしていながら、B to BとB to Cの両方にいろいろな提案をしていき新規のお客様の獲得をさらに増やしていきたい。
- 現在のSNSをより効果的に活用できる体制を作り、情報発信力の強化を図り「SDGs製品」をより普及していきたいと思う。